

26 番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、多様な住民ニーズに応えられる市職員の増員を求めて</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>2005年から進められた「行政改革」は目標以上の職員の削減が行われ、市は人口に占める職員の割合は県下最低の職員数となった。それは、市民のニーズに応えられない体制であったことから、この間、職員の増員が図られた。住民ニーズの適切な対応についても改めて考えるべきであり、自治体として適切な人員体制が問われている。</p> <p>そして今、「働き方改革」が叫ばれる中、どのような体制で市民サービスの充実を図ろうとされるのか伺う。</p>	<p>(1) 2005年から始まった「集中改革プラン」を通して、これまでの業務委託などについても見直すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 一定の増員はされたが、それでも県下では少ない職員数の改善が早急に必要ではないか。</p>	<p>① 図書館では、業務の多くが委託化され、正規の職員は3名で運営されているが、レファレンス事業や市民や子どもたちに本に親しんでもらうイベントなどは、ほとんどを委託業者が担当している。市民ニーズを把握するためにも、本来の在り方に戻すためにも民間委託の見直しをすべきと考えるがどうか。</p> <p>② 組織的な視点からみれば、区画事業など、独立した課とすべきと考える。本市では都市計画課の一係としての扱いは問題ではないか伺う。</p> <p>③ 行政サービスの低下はさせないと言われたが、結果として職員不足は住民サービスを低下させているのではないか。</p> <p>① 保育職場など、担任は正規職員とすべきであるが、(この間、一定の増員はされたが) 現在も約25%は非正規の職員が担任をしている。早急に正規の職員とすべきと考えるがどうか。</p> <p>② 電気技師、土木技師などの専門職についても不足と伺う。一般職では補足できない職域であり、適正な対応を早急に行うべきと考えるがどうか。</p> <p>③ 職員の不足に伴う、慢性的な残業はどのように捉えられているか。職域に応じて36協定を結ぶべきではないか。</p> <p>④ 職員の健康上も残業などがストレスとなれば、職員への「心の悩み」を引き起こす場合もある。この10年間「心の悩み」を訴える職員にどう対応されてきたか。また、その原因をどう捉えているか。</p> <p>⑤ コロナ禍など突発的な事態に対しても、最低の職員数での対応は困難をきしていると考える。ワクチンの接種に際し、庁内に特別の班が設置され、人事異動がされた。職員の異動により、これまでの担当者が異動となり、係の対応が厳しくなった係や課もあると伺うが、ここにも人員体制の弱さが表れていると考えるがどうか。</p>

(1ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(3) 新たな会計年度任用職員への対応をどう考えるか。</p> <p>(4) コロナ禍における「新しい働き方」について</p>	<p>⑥ これらの事例から住民のニーズに応える職員体制の充実こそ必要と考える。この間の効率中心の職員の削減「行革」こそ、反省すべき内容と考えるがどうか。</p> <p>⑦ 今後、必要な職域への職員の配置、男女差や年齢構成など適切な職員の計画と具体的な職員増をどのように考えているか。</p> <p>① 今回、コロナ禍において、自治体によっては、会計年度任用職員が雇い止めや休業要請もあると伺うが、本市の場合はどうに対応されているか。</p> <p>② フルタイムの会計年度任用職員を配置する職域や条件については、総務省の基準では「相当の期間任用すべき職域」、さらに事務量についても「標準的な職務の量」とされているが、市はどう具体化したのか伺う。</p> <p>③ 一般企業においては3年～5年の契約期間を経て正規職員への道があるが、公務員については、その制度はないと伺う。一般企業と同様に市として採用の制度を作るべきではないか。</p> <p>④ パートタイム会計年度任用職員はフルタイム会計年度任用職員にくらべ別の基準で報酬、費用弁償、期末手当の支給がされている。同じ会計年度任用職員で、処遇が異なることは問題と考える。同一労働同一賃金のルールを適用すべきと考えるがどうか。</p> <p>① コロナ禍における勤務として「密」を避けるため、時差出勤や週休日の割り振り変更などが実施されているが、どのようなルールがあるか。またその効果はどうか。</p> <p>② 時差出勤や週休日の割り振り変更は、市民のニーズに応えられる体制となっているか。市はどう評価しているか。そして今後の対応はどうか。</p> <p>③ リモート(自宅)での勤務も取り入れられているが、取り入れるケースではどのような基準を定めているか。</p>

(2 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>④ wifiなどのネットワーク機材については、市の責任で備え付けるものと考えているかどうか。</p> <p>⑤ リモート勤務の場合、原則、時間外勤務はしないとされているが、仕事の内容によっては、時間外とされる場合はどのような対応とされるか。</p> <p>⑥ ⑤の場合、一定の「睡眠時間」の確保が必要となることから、「インターバル制度」はどのように適用されるのか。</p> <p>⑦ リモート勤務は、市民のニーズに応えられるものと市は考えられているのか。また、チーム(係や課)としての力はどうか発揮されているか。市はどうか評価しているか。</p>

(3ページ)

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。